

使用済切手・
書き損じはがき贈呈式

盛岡市立巻塚中学校（佐々木秀一校長）生徒会は、10月24日、ふれあいランド岩手を訪れ、ボランティア活動の一環として集めた使用済切手と書き損じはがきの贈呈を行いました。生徒会副会長の宮野元希さんは、「使用済切手、書き損じはがきの回収は、生徒が協力して取り組みました。私たちの気持ちを受け取ってくれるとうれしいです。これからもボランティア活動に力をいれていきたいです」と挨拶し、使用済切手3・8kg、書き損じはがき103枚を、岩手県社会福祉協議会の新屋浩二専務理事に寄贈しました。

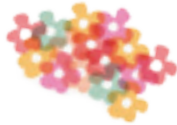
新屋専務理事は、「寄贈いただきお礼申し上げます。頂戴した使用済切手と書き損じはがきは、県内で修理した車いすを海外に贈る際の空港等までの輸送費の一部として活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



(左)新屋浩二専務理事 (右)宮野元希生徒会副会長

ケーブルテレビ5社

寄付金贈呈式



岩手県内ケーブルテレビ5社〔岩手ケーブルテレビジョン(株)、ニューデジタルケーブル(株)、北上ケーブルテレビ(株)、(株)一関ケーブルネットワーク、水沢テレビ(株)〕から公益財団法人岩手県福祉基金に66,000円の寄付をいただき、11月14日に贈呈式が行われました。5社は毎年チャリティーゴルフ大会（銀河カップ）を開催し、チャリティー募金を同財団に寄付しています。今回は10月12日に栗駒ゴルフ倶楽部（金ケ崎町）で開催し、68人が参加。寄付の累計額は1,964,742円となりました。

ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、5社を代表して水沢テレビ(株)の伊藤泰司代表取締役社長が「県民の皆様の福祉に役立ててください。これからも銀河カップの寄付は続けていきます」と挨拶し、岩手県福祉基金の長山洋理事長に目録を贈呈しました。長山理事長は「岩手県福祉基金は財政基盤の弱い福祉団体を支援しており、寄付金はこうした団体の貴重な支援になっています」とお礼の言葉を述べました。岩手県福祉基金では寄付金を基本財産として積み立て、その運用益を県内福祉活動への助成金として活用します。



(左)伊藤泰司代表取締役社長 (右)長山洋理事長

「小さな親切」運動岩手県本部

車椅子寄贈式



「小さな親切」運動岩手県本部（代表・田口幸雄(株)岩手銀行代表取締役頭取）から県内市町村社協へ、車椅子3台が寄贈されました。

11月21日、ふれあいランド岩手で行われた寄贈式で、同本部の三浦茂樹副代表は「“できる親切はみんなでしよう。それが社会の習慣に。”をスローガンに、これまで高齢者や障がい者などに役立ててもらおうと運動してきました。小さな親切がいつそう広がり、あたたかく思いやりのある社会になるよう願っています」と挨拶し、岩手県社会福祉協議会の長山洋会長に車椅子を寄贈しました。

長山会長は「車椅子の寄贈先となる3つの社会福祉協議会では、住民の暮らしを支えるため、あらゆる世代の方々を対象にした様々な地域福祉活動を展開しています。その活動を支える車椅子の寄贈は大変ありがたい、それぞれの地域で有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

同本部は平成11年から毎年車椅子を寄贈しており、今回の3台を含めてこれまでの寄贈台数は99台となっています。



出席者の皆さん

クリスマスケーキ贈呈式



(左) 吉田佑衣さん (右) 白石雄一社長



クリスマスケーキ

白石食品工業株式会社（白石雄一代表取締役社長）恒例のクリスマスケーキ贈呈式は、12月25日にふれあいランド岩手で行われ、福祉施設利用者や同施設職員らが出席しました。

このクリスマスケーキ贈呈式は同社が社会貢献活動の一環として昭和43年から行っている事業で、今回で51回目となります。

白石社長は「皆さんに喜んでいただこうと心を込めて作りました。今日はケーキを囲んでこの1年のことを話しながら楽しく過ごしてください」と挨拶。施設を代表してケーキを受け取った社会福祉法人千晶会わ〜くす城南（盛岡市）利用者の吉田佑衣さんは「今年もおいしいケーキをありがとうございます。みんなでおいしく楽しくいただきます」とお礼の言葉を述べました。

ケーキは、盛岡市周辺の児童養護施設、特別養護老人ホーム、障害福祉サービス事業所など91施設（利用者4,006人）に贈られました。



皆様のご支援 ありがとうございました

東日本大震災被災者支援、地域福祉推進のためご寄付いただき、感謝申し上げます。

[11月5日～12月25日]

株式会社ブリッジ	(2件)	50,000円
北日本経友会連合会	(1件)	205,000円
東北労働金庫岩手県本部	(1件)	540,000円
岩手県中央農業協同組合	(1件)	10,000円
株式会社わしの尾	(1件)	10,000円
永代印刷株式会社	(1件)	10,000円
株式会社佐藤政行種苗	(1件)	47,000円
林 光行	(1件)	100,000円
名郷根 法育	(1件)	1,000円
名郷根 博明	(1件)	1,000円
名郷根 和博	(1件)	1,000円

12月6日、東北労働金庫岩手県本部（砂金良昭本部長）から54万円の寄付をいただきました。

同金庫は、地域の社会福祉施設等の支援を目的とした、社会貢献目的の預金『ろうきんふれ愛預金』の利息の一部に、同金庫からの拠出金を加えた額を寄付しています。

ふれあいランド岩手で行われた伝達式で、砂金本部長は「ふれ愛預金は社会貢献活動として開始して20年以上になります。これからも継続していきたいと思えます」と挨拶し、岩手県作業所連絡協議会の伊藤昇会長と岩手県社会福祉協議会の長山洋会長に目録を伝達しました。伊藤会長は「継続して支援いただき感謝しています。利用者にとっても施設にとっても大変ありがたく、障がい者の自立に向け頑張っています」と

東北労働金庫岩手県本部 寄付金伝達式

その後、長山会長から砂金本部長に感謝状が贈られました。

東北労働金庫岩手県本部は、平成9年度から岩手県社会福祉協議会を通じ、毎年県内の障がい者福祉作業所など支援のため寄付、その累計額は1,500万円に達しています。

寄付金は、県内6か所の障がい者就労支援施設と岩手県作業所連絡協議会の活動資金として活用されます。



(左) 砂金良昭本部長 (中央) 伊藤昇会長 (右) 長山洋会長